

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年（2023年）3月10日

事業所名 草笛学園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	0	・発達課題別活動のグループ数によって部屋を区切って利用するなどの工夫をしている	
	② 職員の配置数は適切であるか	13	1	・コロナ感染で職員が少ない期間があったが、他のクラスから配置することで、基準を満たすようにしてきた	・外来教室や訪問支援など兼務しているため、基準配置より多めに職員配置をしている。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	0	・適切な大きさの机椅子や、個々のマーク（視覚的てがかり）の用意をしている。 ・子どもたちの動きを全体で確認し危険箇所を把握し対応している。	・引き続き、衛生面に配慮し、環境整備をおこなっていく。 ・子どもたちの分かりやすさや活動の導線など、配慮や工夫をしていく。
	④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	・生活空間は、無駄な物はなくすっきりした環境になるように普段から整えている。 ・毎日の掃除、毎月の安全点検を行い、修理は、適宜、行っている。 ・コロナ感染防止のため、子どもが触れるものは毎日消毒をおこなっている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	14	0	・毎月の職員会議では、行事の目的、内容、その後の反省・改善について共有し、年度末には職員全員で園の在り方について検討している。	・引き続き、毎月の職員会議、年度末の会議を通して、園の在り方、活動内容の検討をしていく。また、評価表を用いて保護者への意向を確認し、現状の見直しをし、次年度への取り組みに活かすようにしていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	0	・保護者向けの評価表について職員間で確認をし、見直しや次年度に向けての取り組みにつなげるようにしている。	・多くの視点で、評価いただき、自己評価で振り返ることにより、支援になっていければと考えている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	0	・事業所向け自己評価表についても職員間で確認をし、見直しや次年度に向けての取り組みにつなげるようにしている。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	7	・わからない	・第三者評価制度はあるが、導入はしていない。今後の検討課題である。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	0	・職員のスキルアップのため、年数に応じて研修に参加するようにしている。また、毎月、職員研修日を設けている。	・職員研修日は定期的に確保できた。来年度も引き続き有効に使い、資質の向上を目指していく。
切 適	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと	14	0	・個別支援計画に基づいた支援が行えているかを再確認	・地域支援の支援については、今後、検討していく。

	保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか			<ul style="list-style-type: none"> ・必要がある。 ・会議でその都度ふりかえり振り返ってことを共有できていない 	・子どもの状態に応じて計画の見直しをおこなっていく。
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント表を使用し、子どもの実態を把握できるようにしている。 	
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	0		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインを念頭におき、アセスメントした情報をもとに、課題を整理し、「身辺自立」「からだ・運動」「ことば・対人関係」「あそび」「家庭支援」の項目ごとに目標や支援方法について、検討し作成している。また、支援経過など職員間での共有をおこなっている。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議等で複数の視点で、現状の確認をしている。 	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスやグループ会議等で活動内容やねらいを考えている 	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議にて、子どもの実態に合わせて、楽しめるように工夫している。また、活動の振り返りをし、新たな設定をおこなっている。 ・子どもの状況によっては、同じ活動をじっくりと繰り返すこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の立案をするにあたっては、クラス会議、年長会議など、職員間で活動のねらいや意図を共有したうえで行っていく。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発達課題別や全体集団など多様な集団を保障している。個別活動は、子どもの状況に応じて取り組んでいる 	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の活動内容や職員配置については、朝礼で確認をしている。 ・全体での取り組みを行なうときには、ねらいや注意事項など、毎日実施するようにしている。(忙しい時や職員体制が少ないときなどは不十分な時がある) ・打ち合わせに参加できなかった職員に対しては、連絡ノートで共有できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼では活動内容や職員体制について確認していく。 ・取り組みのねらいや意義については、各会議で検討、確認を行ない、充実した支援につなげていく。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や日々の休憩などの合間に、振り返っている。 ・時間が取れない日もあるが、大事なことを伝えあう意識はしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、日々の振り返りや全職員で共有すべき点については、限られた時間(終礼など)の中で行っていく。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・療育日誌には、日々の活動内容や子どもの様子を記録している。 ・ケース記録には、課題や支援の経過、子どもの変化などを記録し、支援の検証、改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の会議を通して、子どもの評価・取り組み・支援の内容を検討し、支援につなげていく。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13	1	・定期的に会議を行ない、計画の見直しを行なっている。	・前期・後期にモニタリングの会議を行ない、計画の見直しをしているが、前期・後期だけでなく、必要に応じて、計画を見直し、適切な支援が行えるようにしていく。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13	1	・担当が参加している。内容については、記録の回覧、報告等で共有するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っているか	12	2		・こども発達支援センターや障がい福祉課などと必要に応じて情報共有や連携をおこない、適切な支援がおこなえるようにしていく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	7		・個々に必要な医療的ケアの状況把握やできる対応など、具体的な連携を取っていくようにする。また、地域の現状や課題に対しては、情報収集・共有に努める。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	6		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	3		・小学校への入学、保育所への入所にあたっては、支援の継続性を考える上で、情報提供が必須である。よりより環境づくり、支援になるように具体的な連携方法を一律化し実施していく。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	2	・個別支援計画や計画に対する評価、今後の課題など、情報提供をしている。	・入園にあたっては、母子保健・児童発達支援事業所などからの引継ぎを受け、適切な支援につなげていく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12	2	・各センターや事業所での取り組みや事例をもとにオンライン研修をおこなった。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	12	・コロナ禍だったため実施できていない。	・コロナの状況に応じて、近隣の保育所と交流できるように検討していきたい。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11	3	・担当が参加している	・地域での連携や必要な支援のあり方について、検討や協力を引き続き行なっていく。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	0	・子どもの状況については、懇談やおたより等でお伝えし、共通理解を持てるようにしている。 ・参観後の研修やクラス懇談、保護者の勉強会など、実施し理解を深めていけるようにしている。	・保護者支援は子どもを支援すると同様に大切な事柄です。懇談や親子教室、研修会を通して、保護者の支援につなげている。

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	9	・プログラムを意識して行っていないが、懇談やおたよりで、関わり方など一緒に考えている。	・家族支援プログラムの実施については、今後の検討としていく。
	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	1		・運営規定については入園説明会でお伝えしている。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	14	0	・家庭訪問や懇談で説明を行っている。保護者の思いや願いも聞きながら同意を得ている。	・コロナ禍のため保護者会で伝えられなかったことなど、動画配信を使ってお伝えしている。 ・わかりやすく、丁寧な説明を努めていく。
保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	0	・懇談や親子教室などで子育ての悩みについて助言、支援をおこなっている。その他にも相談があった場合は、その都度、おたより、電話などで対応している。 ・相談に即対応できないときには、他の職員と協議しながら、伝えている。	・保護者の思いや悩みを聞いたり話したりする機会（懇談・親子教室など）を定期的に設けている。 ・引き続き、その時々様子によって、時間を設けたり、電話でのやりとりをしたりすることで、よりタイムリーに対応をしたいと思う。 ・保護者が安心してお子さんを預けられるように、努力をしていく。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12	2	・コロナ禍のため、全体での活動は難しかったが、少人数で集まり活動できるように、場所の提供や、支援をしている。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	・日程や場所を設定して対応している。 ・職員間で情報共有するようにしている。	・気軽に相談できる信頼関係を築きながら、子育ての不安や悩みについて話し合いができるように努めていく
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	・行事予定、事務連絡を発行している。子どもの活動、活動のねらい、様子等については、隔週でおたよりを発行し、毎週個別へのおたよりを発行している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	14	0	・メールでのおたより発行の際には、間違いのないよう、数名の職員で確認をしながらおこなっている。	・情報の管理の徹底していく
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	0	・ことばのみで伝えるのではなく、マカトンサインや手話、視覚的な手がかりを使いながら伝達している。保護者の方に関しては、口話やメールなどを使用して情報伝達をおこなっている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	9	・地域へは、新聞を発行している。また、地域の会合に参加している。	・招待する行事は行っていないが、子どもの散歩や課外活動での積極的な近隣の方々

					<ul style="list-style-type: none"> 子どもの散歩の際には、挨拶するなど、積極的に関わりを持つようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> とのかかわりや、新聞発行による周知などを行なう。 地域貢献活動の相談窓口として機能が発揮できるように啓発していく。
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	13	1		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの安全を守るための必要な対応については、マニュアルを元に、職員が共有対応できることが必要である。そのための危機管理、訓練を引き続き行っていく。 地震や防犯などに対する想定を常に意識していく必要がある。マニュアルの見直しも行なっていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練は毎月実施している。その他に土砂崩れを想定した避難訓練をおこなった。 地震、防犯への訓練も必要。 	
非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに調査票に記入をしてもらい、対応マニュアルを作成し、職員間で共有している。 	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 入園時に指示書の提出をお願いし、対応している。変更があった場合は、その都度、保護者と確認している。 アレルギー対応については、朝礼時、除去食の確認や毎月、エピペン使用の訓練をおこなっている。 	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット案件が発生した場合は、職員間で状況把握、今後の対応について考えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ヒヤリハット事項の共有をし、職員全体の意識を高めていく。また、定期的に危険箇所や危険予測について確認していく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 年2回、職員全体で「倫理綱領」「職員の心得」について読み合わせをおこなっている。虐待についての研修会では、グループワークの中で、職員それぞれの意見を述べ合う機会をつくった。 定期的に虐待防止委員会を開催し、職員会議で内容を報告し、虐待防止について確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、研修機会を設けるとともに、学習会などでも、取り入れていく。 他事業所の取り組みも知り、参考にしていく。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束・行動制限のガイドラインを作成し、全職員で共有している。 保護者へは、動画を配信で説明をおこない、支援計画に記載している。質問、疑問点などについては、その都度対応をした。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を押さえる、移動を室内に制限するなど、身体拘束の捉え方や考えられる場面を職員全体で確認、検討をおこない、明文化していく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。